



子ども大学かわごえ

CUK だより

第 61 号 NO.150210

平成 27 年 2 月 10 日

子ども大学かわごえ 第 8 期 第 06 回 授業記録

日時 : 2014 年 12 月 06 日(土) 14:00~16:00

場所 : 東京国際大学 第一キャンパス

テーマ : 国の会計とは~会計検査院の仕事~

講師 : 会計検査院検査官 小林麻理 先生

1. 会計検査院とは？

○会計

状況を良く理解して適切な判断や意思決定が出来るように経済的な情報を持ち、識別し、測定し伝達する過程。



○みなさんも…

何か欲しいか？欲しいものはいくらで買えるか？ → 支出の見積りを無意識の内にやっている。

今、お金がいくらあるのか？…情報の識別(しきべつ)・測定(そくてい)

次の小遣いやお年玉はいつもらえるか？(収入)…収入の見積り

そのお金で何が買えるのか？(支出)

欲しいものを買うためにはどうしたら良いのか？…判断・意思決定



○会計

小遣い帳をつけると、どのような収入があるのか？何に使ったか、その結果いくら残ったのか 明らかになります。これが会計です。

→ 国の会計もいっしょ…計画、見積り、予算の執行(しっこう)などを行います。

会計検査院とは？

キャラクター『だめだぞう』 →

会計検査院とは国の税金の使い道をチェックする税金の無駄遣いのレッドカード機関で、憲法で定められた国の組織です。

『指摘する』そして検査を公正に行えるように第三者の立場でチェック出来るような仕組みが作られています。



何をしているところ？

会計検査院は皆さんのお父さんやお母さんが国に納めた税金がキチンと無駄なく使われているかどうかをチェックするところです。

もしも税金の無駄使いを見つけたら、無駄なく使うように厳しく指導します。

2. 検査官とは？～会計検査院のしくみ～

○検査官とは？

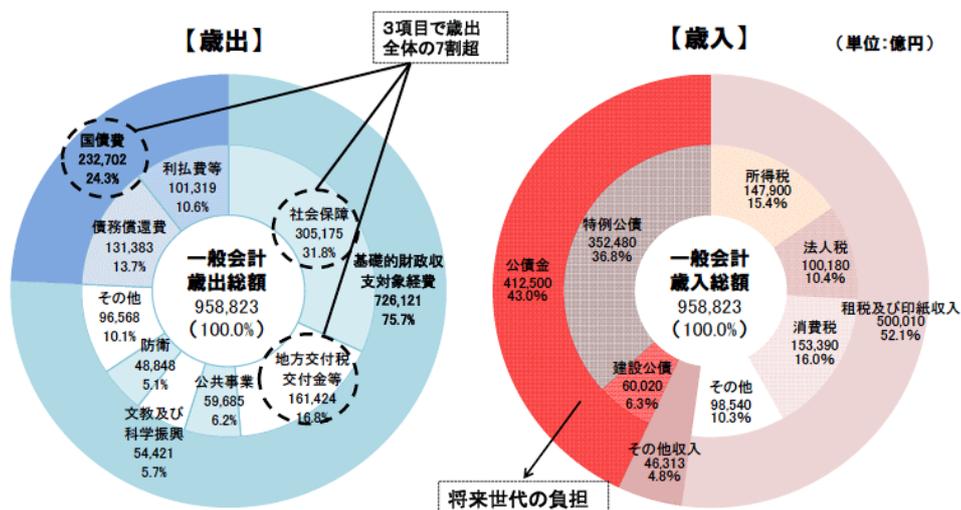
会計検査院を組織する構成員のこと。

定数は3人で、内閣は検査官がお互いで相談して互選（ごせん）した1名を会計検査院を代表する会計検査院長に任命する。

○国のお金はどこから得てどこに使うのか？

一般会計(2014年度)予算：

95兆8,823億円< 税収：52.1%、公債金（こうさいきん）：43.0%、その他：4.9%



歳出は社会保障費、地方交付税交付金
国債費の3項目で全体の70%

○国は国民(みんな)のためにちゃんとお金を使っているのか？

国のお金の使い方はどうやって決めるの？

税金や公債費の使い方については、先ず財務省で使い道の案(予算案)を作成し、内閣で検討して国会に提出する。

その案の良し悪しについては国会で国会議員が話し合っている。

税金や公債費の使い道は国民が選挙で選んだ国会議員が決められているので、国民が決められていると言える。

○団塊世代

1945年に第二次世界大戦が終わる。高度経済成長期：1945-1950年頃に生まれた人は多かった。

しかし今は少子化が進み、子供の数が少なくなり、税金を納める大人も少なくなる。

税金を納める人(納税者)が少なくなると、お金が足りなくなって国の存続が不可能になる。

○国はお金の使い道とその結果を国民に説明しているのか？

「公表(報告)している」…決算 但し国民に内容の解る報告になっているのか？ →

公表と説明は必ずしも一致とは限らない。



○憲法第 90 条

国の収入と支出の決算は毎年会計検査院が全ての内容を検査し、内閣は次の年度にその検査報告と共にこれ(決算書)を提出しなければならない。

○『財務状況の報告』～財務省 HP～

例えば「財政法第 46 条に基づく国民への財政報告」

この報告は財政法第 46 条第 1 項に基づき国民に対する財政状況の報告として作成されるものであり、官報(かんぽう)・ホームページを通じて広く国民に公表している。

財政の果たすべき役割や機能に関する国民の理解を得るため、各種の印刷物、講演、テレビ、インターネット等の媒体を通じた広報活動を日常的に行っており、各年度の予算の成立に合わせ本報告を行っている。



この報告においては予算、歳入歳出(さいにゆうさいしゅつ) 決算並びに公債(こうさい)、借入金及び国有財産の現在高その他財政に関する一般の事項について説明している。

このうち予算については主に予算編成の前提となった経済情勢、予算編成の基本方針、予算の規模及び予算に織り込まれた社会保障、公共事業等の各般の事業について詳細な説明を行っている。

○会計検査院の仕事(役割)

会計監査院では1年間の監査結果を『検査報告』と言う本にまとめている。

例えば H26 年 11 月に発行した「H25 年度 決算検査報告」は 1,327 ページもあり、とても厚い。

この中には 595 件、約 2,831 億円の指摘が書かれている。

○検査の 5 つの観点

- 1) 決算の表示が予算執行等の財務の状況を正確に表現しているか。
(正確性)
- 2) 会計経理が予算、法律、政令等に従って適正に処理されているか。
(合规性・ごうきせい=規則に合っているか)
- 3) 事務・事業の遂行及び予算の執行がより少ない費用で実施できないか。(経済性)
- 4) 業務の実施に際し同じ費用でより大きな成果が得られないか、
或は費用との対比で最大限の成果を得ているか(効率性)



5) 事務、事業の遂行及び予算の執行の結果が目的を達成しているか、また効果を上げているか。(有効性)

□事例～国交省

各地に大地震が起きても壊れない港を建設した。…皆のためになる。

※検査は常に公平に行われる…皆のため：○ ある人のため：×

3. まとめ

1) 財務省のHPは面白いから是非とも見て欲しい。

2) 日本は市町村の破産と言うしくみは無い。アメリカはデトロイトが破産した。

3) 皆が大人になって税金を払う立場になったら、税金の使い道を意識して欲しい。

特別授業「エコプロダクツ2014」

12月13日に東京ビッグサイトで開催されて環境産業見本市を訪問した。午前7時30分、学生51名、保護者30名、兄弟姉妹7名、ジュニアスタッフ11名、こども大学スタッフが、川越駅に集合しバス2台で東京ビッグサイトへと向かった。

学生たちは、事前に自分の興味のあるブースや行ってみたいブースを調べ、今回の授業に参加した。会場内では15班に分かれ、保護者の引率の下、グループごとにブース見学をした。その際、説明会で配布したエコスタディノートを片手にメモを取り、展示コーナーを熱心に見学していた。

富士通ブースでは、6年生対象の特別授業でお世話になっている畠山義彦先生のほか2人の説明員の方が、学生と一緒にブース内を回り、丁寧に説明をして下さった。

触感タッチパネルで学ぶコーナーでは、パソコンの画面に手を触れると、平らなはずの画面がザラザラしたように感じたり、といった不思議な体験が出来た。「どうして？」と説明員の方に質問したり、何度も画面に触れたりしている学生もいた。

見学を終えたグループは、遠隔操作で管理されたハウスの中で育った野菜をお土産にもらい、喜んでいました。(カリウムが少なく、洗わずに食べられるレタスは美味しかった。)

また、5年生の特別授業で10月に訪問した石坂産業の出展ブースもあり、訪れてみると神社形式のブースで、5年後の自分に宛てた手紙を書くコーナーがあった。学生たちは5年後の自分にどんなメッセージを届けたのだろうか？！

「エコプロダクツ展」を見学し、企業や大学が環境問題をテーマに様々な活動をしていることが分かった。出展ブースが多く、全てを見学できなかったことは残念だったが、企業によっては子どもの目線で展示をしていて、環境問題を身近なものとして考えさせる工夫がみられた。

最後に、学生からは、グループ活動を通じて普段は交流のない学生と話ができ楽しかったという話も聞けた。

子ども大学かわごえ

学長 遠藤克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ

〒350-1109 川越市霞ヶ関北3-12-6

霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>

TEL 080-2053-2991 (事務局直通)

FAX 049-233-1640F

E_MAIL info@cuk.or.jp